



## 2019 ピレリスーパー耐久シリーズ 第5戦 もてぎスーパー耐久 5Hours Race

少しづつ秋の気配を感じさせる頃  
スーパー耐久シリーズも後半戦となった。

朝晩は肌寒さを感じる事もあったが、

決勝は打って変わって夏日となり

ガラッと変わるコンディションをはじめ、

様々な変化する要素がレースを盛り上げた。

次は最終戦で当チームにとってホームコース。

全車万全の体制で挑みたいと思います。



# #998 Z-REX ADVICS R8 TRACY

ST1

予選結果 2位

決勝結果 2位

A:Dr JEFFREY ZEE

B:Dr 廣田 築

C:Dr LEO YE

D:Dr SIMON CHEN



AP戦で調子を取り戻した事もあって木曜日から順調にラップを重ねる。

激しいブレーキングを要するコースに一時戸惑う事もあったが、すぐにドライバーが順応し初じめてのコースでもラップタイムを縮めていく。

予選は2位となったが、決勝は序盤から追いつけるべくプッシュを続ける。ピット作業ではFCYを上手く利用し追いつけるも後半に差し掛かろうとする頃ピットイン予定ラップにピットまで僅か100m届かず車両停止する事に・・・

燃料カウンターが無く予想以上のペースに伴い予想以上の燃料消費に愕然とする。しかし、すぐリペアエリアにて小補給し予定のピット作業と給油を行いコースに戻すも逆転を許されず2位でチェッカーを受けた。

# #38 ADVICS muta racing RC350 TWS

ST3

予選結果 5位

決勝結果 3位

A:Dr 堀田 誠

B:Dr 坂口 良平

C:Dr 堤 優威



前回のAP戦で見る影も無くなったRC350。

多くの方の尽力によってこのスーパー耐久のステージに戻す事ができました。

走り出しから淡々とメニューを消化しプラクティスを終える。

あれほどの大クラッシュ後に何も無かったかの様に走るRC350を見て  
完璧な仕事をしたスタッフに感服せずにはいられませんでした。

予選は接戦ながら3位となり5時間の決勝でチャンスを伺う。

グッと暑くなった決勝は序盤から坂口選手が猛追は始める。

だがライバル勢も見事なまでにペースを維持しそう易々とは前に出れない。

様々な戦略を駆使し一時はトップを快走する場面もあったが、

ライバルの速さに一歩及ばず3位でのチェッカーとなった。

# # 39 5ZIGEN ADVICS RC350 TWS TRACY

ST3

予選結果 7位

決勝結果 6位

A:Dr 下垣 和也

B:Dr 大島 和也

C:Dr 近藤 説秀



ライバル勢は多くのプロドライバーが実力を競い合い  
レベルの高いこのクラスで表彰台を目指し奮闘する当チーム。

富士24時間で2位となり積んでるウェイトがここもできで重くのしかかる。  
走り出しからもてぎに合わせて微調整を繰り返す。

予選では下垣選手、大島選手ともウィークベストを更新するも  
予選結果では7番となった。

決勝では粘りの安定走行で上位をめざすが、他車のトラブルに  
巻き込まれたり、FCY中ピットインでもピットロードの通路が塞がれたり  
不運が続く。粘り強く走り続け 1 ポジションアップの  
6位チェッカーでレースを終えた。

## #5 5ZIGEN ADVICS SPV 86

ST4

予選結果 5位

決勝結果 6位

A:Dr 山本 謙悟

B:Dr 青木 孝行

C:Dr 三島 優輝

D:Dr 鶴飼 龍太



今回は積極的に事前テストと練習を重ねもてぎに持ち込んだ。

また今回はあの青木孝行選手を迎え、総合力アップを目指す。  
若手である三島選手・山本選手が青木選手に刺激を受けながら  
予選・決勝に備える。

予選では山本選手が上位タイムには届かずとも健闘する。  
青木選手は初乗りの5号車でトップタイムに迫るタイムを叩き出し  
チームを盛り上げ今期ベストポジションからのスタートとなった。

決勝では粘り強く耐久レースらしい走りで上位陣に食らい付くも  
驚異的なペースに少しずつ遅れをとり一矢報いる事無く  
6位でチェッカーとなった。



